

エコアクション 21

2023年度 R5年6月～R6年5月

環境経営レポート

作成者：後藤康平 作成日：令和6年9月2日

有限会社塚本興業

目次

<u>環境方針</u>	- 1 -
<u>実施体制</u>	- 2 -
<u>組織の概要</u>	- 3 -
<u>事業内容</u>	- 4 -
<u>敷地及び床面積</u>	- 5 -
<u>許可内容</u>	- 6 -
<u>処理施設概要</u>	- 7 -
<u>産業廃棄物処理フロー図</u>	- 8 -
<u>EA21 推進委員会</u>	- 9 -
<u>中長期環境目標</u>	- 10 -
<u>新中長期環境目標</u>	- 11 -
<u>環境への負荷の状況</u>	- 12 -
<u>環境活動計画&進捗評価</u>	- 13 -
<u>環境目標と実績評価</u>	- 14~17 -
<u>分析・評価・次年度への課題（温室効果ガス排出量・化石燃料の使用量）</u>	- 14 -
<u>分析・評価・次年度への課題（化石燃料の使用量・購入電力）</u>	- 15 -
<u>分析・評価・次年度への課題（自社オフィス廃棄物排出量・上水使用量）</u>	- 16 -
<u>分析・評価・次年度への課題（産業廃棄物リサイクル率・グリーン購入(事務用品)）</u>	- 17 -
<u>環境関連法規等の取りまとめ</u>	- 18 -
<u>代表者による評価と見直し---環境システム全般について評価と見直し---</u>	- 19 ~20 -

【基本理念】

有限会社塚本興業は、廃棄物の処理業務を行う上で、より快適な地域環境を常に創造しつつ地域に暮らす人々の身近な生活環境を守り、次世代へ継承することを企業の使命とし社員一人一人が地域環境の保全に心がけ 安全・迅速・的確にサービスの提供を行い、創意工夫と行動力をもって循環型社会の構築へ貢献する企業活動を推進します。

【環境方針】

1. 地球環境の保護のため、省資源・省エネルギーの推進をします
 - ▼水資源の節約に努めます（雨水を有効利用する）
 - ▼収集運搬車両のエコドライブを実践し、CO₂排出の低減に努めます
 - ▼こまめに電気を消し、必要以上の電力を使用しない様、省電力に努めます
2. 廃棄物のリサイクル率の向上に努めます
3. 地域社会貢献活動をします
4. 環境関連法規を遵守します
5. 廃棄物の処理業務を行う上で、周辺環境の保全に努めます
6. 従業員の環境教育を行います
7. 環境経営システムの継続的改善に努めます

平成 19 年 4 月 2 日制定

平成 26 年 9 月 1 日改訂

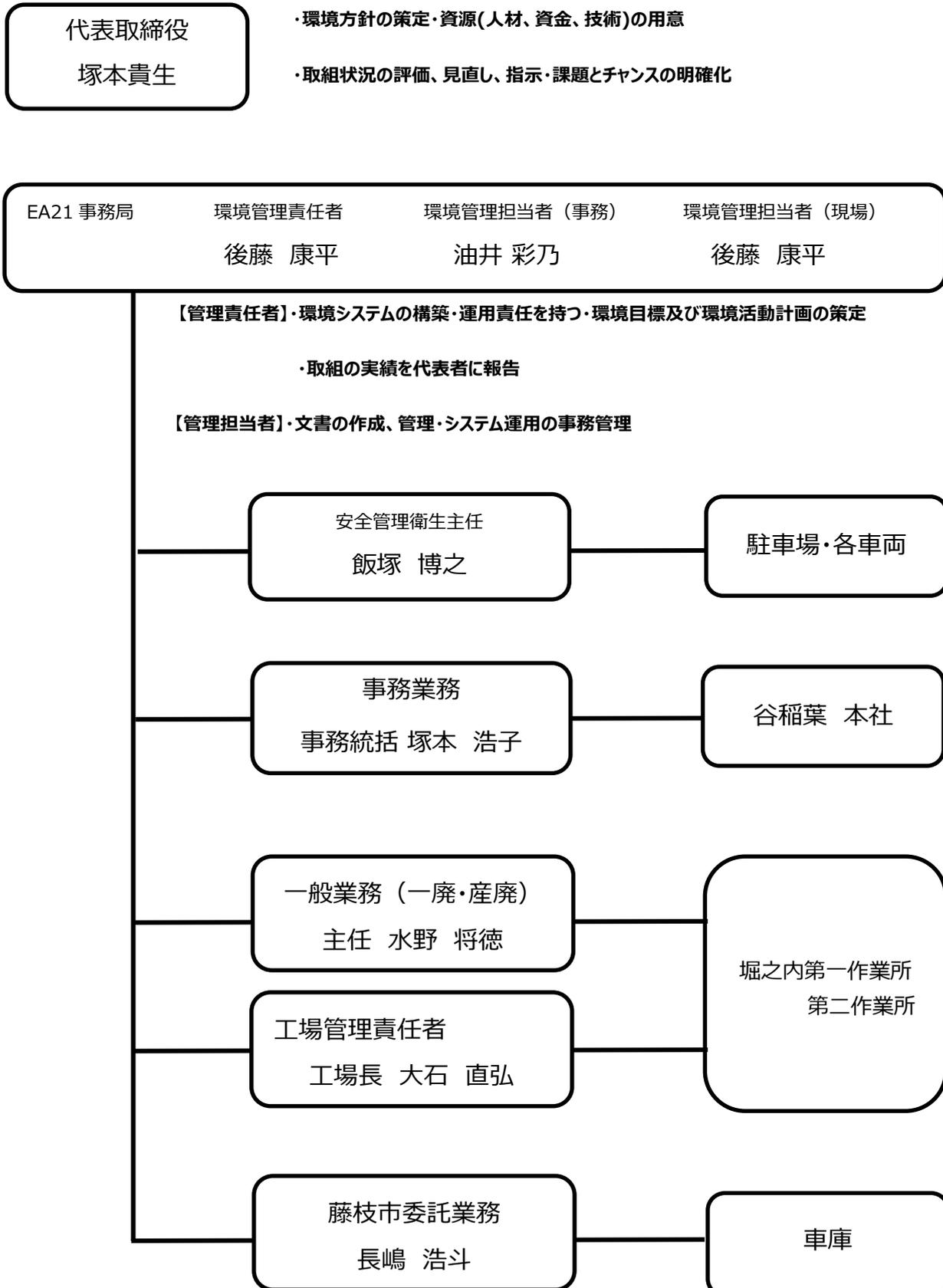
令和 5 年 10 月 16 日改正

有限会社塚本興業

代表取締役 塚本貴生

当社のエコアクション 21 の対象範囲：全組織・全従業員

有限会社塚本興業 組織図



組織の概要

会社名および代表者名

有限会社 塚本興業

代表取締役 塚本貴生

環境管理責任者

環境管理責任者名：後藤 康平

連絡先：tkeco21@cy.tnc.ne.jp



所在地



本社・・・〒426-0083 静岡県藤枝市谷稲葉 435 番地の 1

TEL : 054-644-1524 FAX : 054-668-9557



堀之内第一作業所・・・〒426-0088

静岡県藤枝市堀之内 1 丁目 1 番 13 号



堀之内第二作業所・・・〒426-0088

作業所：静岡県藤枝市堀之内 1 丁目 1 番 10

駐車場：静岡県藤枝市堀之内 1 丁目 1 番 11・12



堆肥製造施設・・・〒426-0131

静岡県藤枝市瀬戸ノ谷字山下 1304 番 2

事業内容

■一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業及び中間処理業

会社の概要・事業規模の推移

事業開始：昭和 45 年 6 月 法人設立：昭和 61 年 9 月 資本金：700 万円

	単位	2021 年度 (令和 3 年 6 月～令和 4 年 5 月)	2022 年度 (令和 4 年 6 月～令和 5 年 5 月)	2023 年度 (令和 5 年 6 月～令和 6 年 5 月)
売上高	百万円	186.3	196.8	195.1
運搬実績				
藤枝市委託（家庭系）	t	9427.4	9717.9	9272.2
事業系一般廃棄物	t	785.1	1056.7	825.9
事業系一般可燃ゴミ	t	494.9	548.9	531.1
事業系一般不燃ゴミ	t	100.1	307.3	115.2
事業系一般古紙	t	190.1	200.5	179.6
産業廃棄物	t	43.5	54.9	100.79
廃プラスチック類	t	37.7	47.3	76.9
木くず	t	2.6	2.5	2.4
ガラス陶磁器くず	t	3.2	5.1	1.0
動植物性残さ	t	0.0	0.0	0.0
特定家庭用機器	t			20.49
中間処理量				
事業系一般廃棄物	t	20.3	21.5	25.0
圧縮梱包：ペットボトル	t	9.2	10.4	12.8
圧縮梱包：スチール缶	t	6.9	6.8	7.5
圧縮梱包：アルミ缶	t	4.2	4.3	4.7
産業廃棄物	t	35.5	30.7	34.9
圧縮梱包	t	34.8	30.7	34.9
破碎分離	t	0.0	0.0	0.0
肥料化	t	0.7	0.0	0.0
従業員数	人	27	26	26
車両台数	台	17	17	18

敷地及び床面積

		2021 年度	2022 年度	2023 年度
本社	敷地面積	468.09	468.09	468.09
	床面積	304.89	304.89	304.89
谷稲葉駐車場	敷地面積	375	375	375
堀之内第一作業所	敷地面積	685	685	685
	床面積	243.67	243.67	243.67
堀之内第二作業所	敷地面積	693	693	693
	床面積	454.51	454.51	454.51
堀之内第二駐車場	敷地面積	1250	1250	1250
堆肥製造施設	敷地面積	196	196	196
	床面積	70.27	70.27	70.27

単位：m²

車両の概要

藤枝市委託業務 車両

- ① 中型 塵芥車両 7 台
- ② 準中型 塵芥車両 1 台

一般・産業廃棄物許可業務 車両

- ① 中型 塵芥車車両 3000 kg
- ② 準中型 2 t バン
- ③ 準中型 塵芥車車両 2800 kg
- ④ 準通型 2 t バン
- ⑤ 中型 塵芥車車両 3050 kg
- ⑥ 普通 350 kg バン
- ⑦ 中型 4 t 脱着装置付コンテナ専用車両
- ⑧ 普通 350 kg バン
- ⑨ 普通 250 kg ピックアップ
- ⑩ 準中型 バン
- ⑪ 準十型 2 t バン
- ⑫ 中型 塵芥車車両 3650 kg



許可内容

一般廃棄物収集運搬の許可内容

許可範囲	許可番号	有効期限	許可年月日
藤枝市	藤生環指第 1-35 号	令和 8 年 3 月 31 日	令和 6 年 4 月 1 日
焼津市	第 44-11 号	令和 8 年 7 月 25 日	令和 6 年 7 月 26 日
島田市	島地環第 250 号	令和 7 年 2 月 28 日	令和 5 年 3 月 1 日
静岡市	第 10214 号	令和 7 年 3 月 31 日	令和 5 年 4 月 1 日
吉田町	第 6-3 号	令和 8 年 5 月 30 日	令和 6 年 5 月 31 日
川根本町	川本く環第 62 号	令和 8 年 5 月 14 日	令和 6 年 5 月 15 日

※静岡市一般廃棄物収集運搬業務の内容は特定廃家電 4 品目の指定場所への積み降ろしに限る

事業系一般廃棄物中間処理業の範囲

許可範囲	許可番号	有効期限	許可年月日
藤枝市	藤生環指第 2 号	令和 8 年 3 月 31 日	令和 6 年 4 月 1 日
	圧縮・梱包・結束処理・破碎分離（廃プラスチック類/アルミ缶/鉄缶/ペットボトル/動植物性残さ（生ごみ））		

産業廃棄物収集運搬の範囲

許可範囲	許可番号	有効期限	許可年月日
静岡県	第 02201116606 号	令和 7 年 3 月 2 日	令和 2 年 3 月 3 日
	※廃プラスチック類・金属くず・※ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・※がれき類・汚泥・廃油・廃酸・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ 以上 11 品目 （※石綿含有廃棄物を除く）		

産業廃棄物中間処理の範囲

許可範囲	許可番号	有効期限	許可年月日
静岡県	第 02221116606 号	令和 6 年 11 月 1 日	申請中
中間処理	破碎分離処分→廃プラスチック類・金属くず・廃酸・動植物性残さ		
	圧縮梱包処分→廃プラスチック類・紙くず・繊維くず		
	肥料製造処分→廃酸・動植物性残さ		

処理施設概要

中間処理能力

施設名	種類	処理能力
圧縮梱包施設	廃プラスチック類	0.56 t/日 (8.0 時間)
	紙くず	0.64 t/日 (8.0 時間)
	繊維くず	0.53 t/日 (8.0 時間)
破碎分離施設	廃プラスチック類	0.16 t/日 (8.0 時間)
	金属くず	0.16 t/日 (8.0 時間)
	廃酸	3.04 t/日 (8.0 時間)
	動植物性残さ	3.04 t/日 (8.0 時間)
肥料製造施設	廃酸	0.10 m ³ /日 (24.0 時間)
	動植物性残さ	0.98 m ³ /日 (24.0 時間)

肥料製造施設

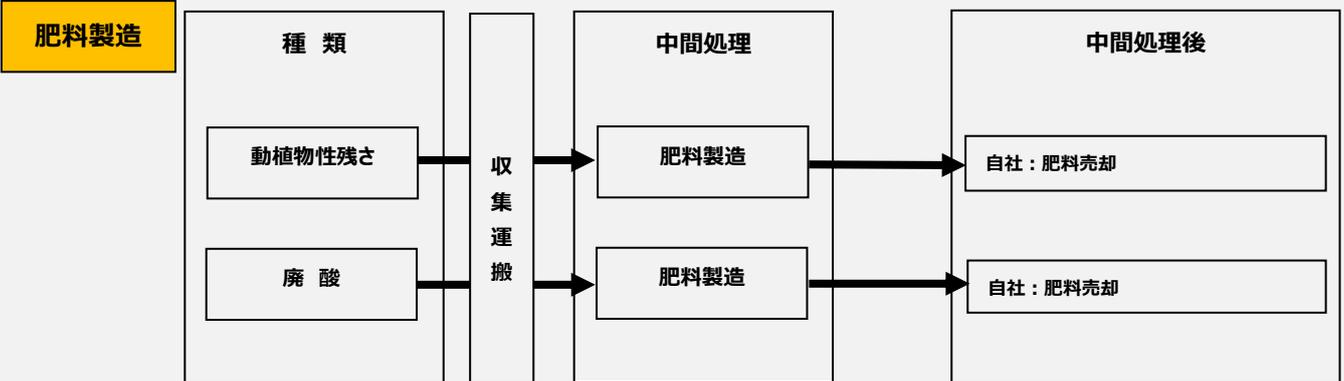
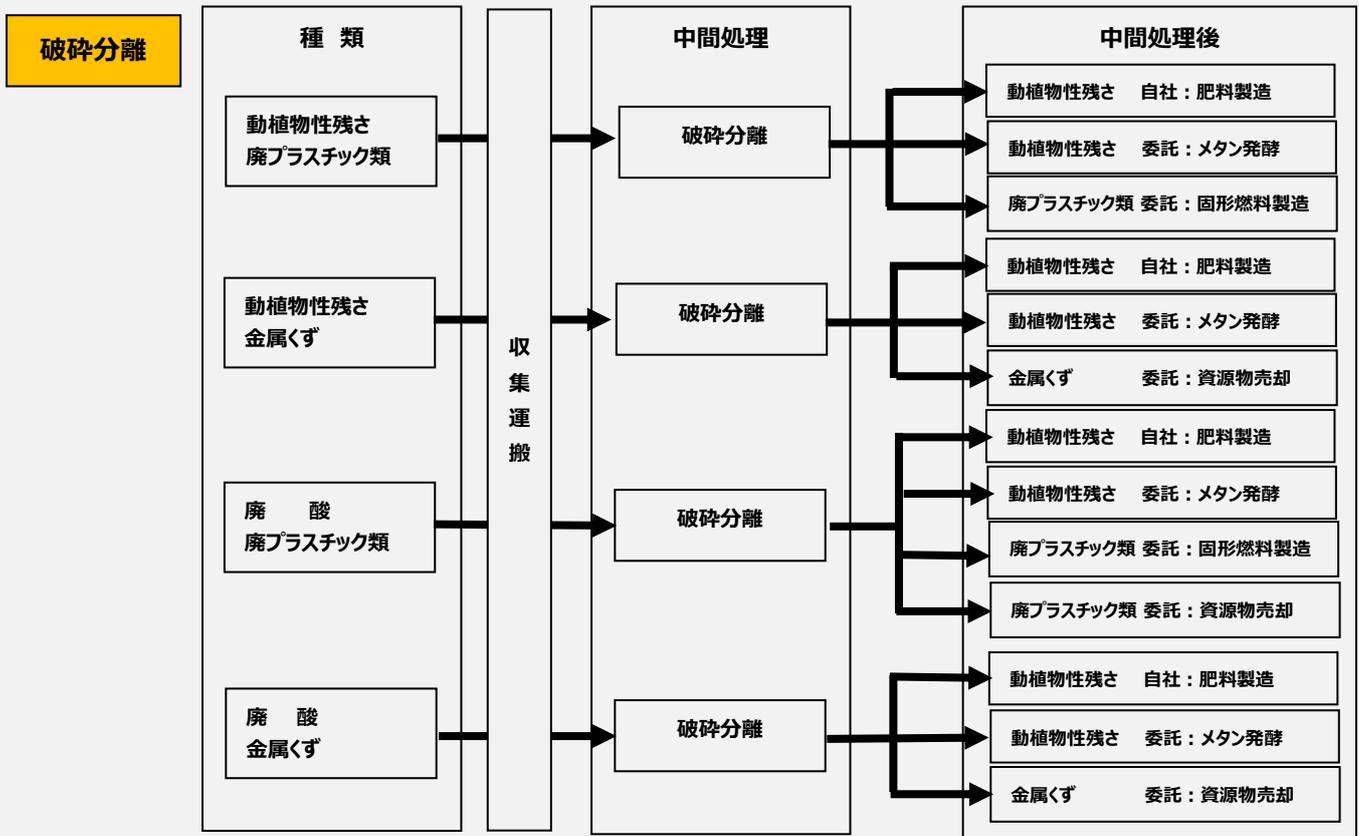
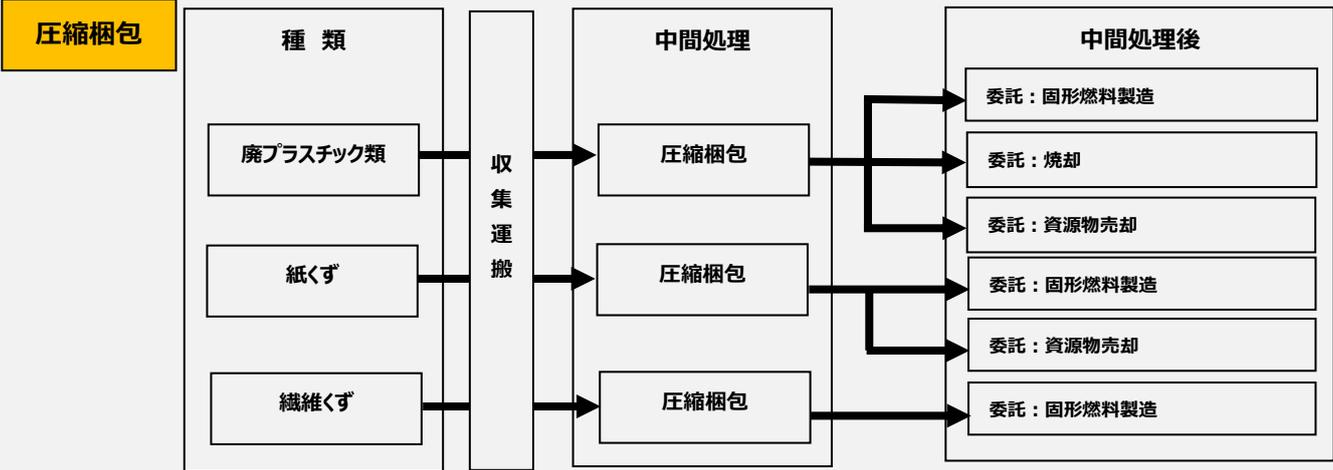


圧縮梱包施設



破碎分離施設





毎月第二水曜日に各部門責任者が集まり、EA21 推進委員会を開催
業務上の課題及び問題点を題材にし、改善点などの意見をまとめて従業員全体にフィードバックする会議の実施。

エコアクション21における役割

【代表取締役】

- 環境方針の策定
- 資源・人・物・資金の調達
- 各責任者の任命
- 取り組み状況の評価と見直し

【環境管理責任者及び管理担当者】

- 外部からの苦情処理
- システムの構築と運用
- 社内教育の実施
- 環境関連整備行事の企画

【事務部門 事務統括】

- 外部からの苦情受付
- EA21 に係るデータ書類作成
- 自社ごみの分別
- EA21 推進委員会の司会進行

【藤枝市委託部門 作業長】

- 藤枝市ごみ収集の苦情受付及び対応
- エコドライブ・エコ作業
- 回収ルートの見直し等の業務効率化

【一般業務部門 主任】

- 事業所からの苦情の受付及び対応
- エコドライブ・リサイクル
- 回収ルートの見直し等の業務効率化

【安全運転管理者】

- 防災関連行事の提案と企画
- 安管総会への出席および従業員への指導

環境整備活動 奉仕作業の実施



エコドライブ・安全運転ランキング揭示の実施

エコ・安全運転ランキング

ページ 1/5
印刷日時: 2020/11/19 15:52

対象期間	2020/09/01~2020/09/31		2020年11月15日 2時27分		1位~10位まで		11位~100位まで		100位以上		ベスト		
担当者	根本 義典												
順位	氏名	総合評価	エコ運転率 (%)	走行距離 (km)	燃費 (km/L)	最高速度 (km/h)	急ブレーキ回数	急加速回数	アイドリング時間 (分)	アイドリング燃費 (L)	急減速回数	急減速燃費 (L)	急減速燃費 (L)
一般業務 (平均総合評価: 94)													
1	岡村 有由樹	100	A	0	87.8	6.6	21	50	2020/05/15 10:16	25.6	2201.5		5814
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0										
市委託 (平均総合評価: 98)													
1	栗田 友樹	100	A	0	95.8	198.2	258	86	2020/05/25 09:46	42.4	32814.9		144984
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0										
一般業務 (平均総合評価: 94)													
1	水野 啓輔	100	A	5	88.5	481.2	1818	73	2020/05/18 10:15	29.3	48886.3		20046
		5	S2										
1	杉山 裕貴	100	A	5	88.0	618.5	1907	66	2020/05/07 10:22	29.5	11388.9		44414
		5	S8										

社員講師の社内教育の実施



中長期環境目標（基準年 2019・2020 年度平均）

		単位	基準数値 2019・2020 年度平均値	2021 年度 目標	2022 年度 目標	2023 年度 目標
温室効果ガス排出量		kg-CO2	129721	-1% 128423.8	-1.5% 127775.2	-2% 127126.6
化石燃料の使用量	軽油	ℓ	47044.5	-1% 46574.1	-1.5% 46338.8	-2% 46103.6
	灯油	ℓ	248.3	-1% 245.8	-1.5% 244.6	-2% 243.3
	ガソリン	ℓ	828.1	-1% 820.0	-1.5% 816.0	-2% 811.5
購入電力		k w h	16033	-1% 15872.7	-1.5% 15792.5	-2% 15712.3
自社オフィス排出廃棄物量		kg	238	-1% 235.6	-1.5% 234.4	-2% 233.2
水使用量		m ³	188.5	-1% 186.6	-1.5% 185.7	-2% 184.7
産業廃棄物のリサイクル率 ※産業廃棄物のリサイクル率（＝中間処理後のリサイクル量÷中間処理合計）は、処理量を考慮し、現状維持とする		%	100	維持 100	維持 100	維持 100
グリーン購入（事務用品）		%	100	維持 100	維持 100	維持 100

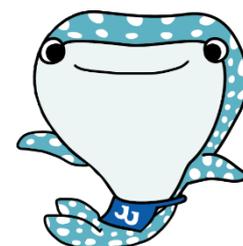
※温室効果ガス排出係数の算出に用いた電力排出係数は 0.482-CO2 を使用

新中長期環境目標（基準年 2023 年度）

		基準数値 2023 年度数値	2024 年度 目標	2025 年度 目標	2026 年度 目標	
単位						
温室効果ガス排出量		kg-CO2	143554	-1%	-1.5%	-2%
			142118		141400	140682
化石燃料の使用量	軽油	ℓ	49597	-1%	-1.5%	-2%
				49101	48853	48605
	灯油	ℓ	0	-1%	-1.5%	-2%
				0	0	0
	ガソリン	ℓ	3094	-1%	-1.5%	-2%
				3063	3047	3032
購入電力		k w h	17461	-1%	-1.5%	-2%
			17286		17199	17111
自社オフィス排出廃棄物量		kg	266	-1%	-1.5%	-2%
			263		262	261
水使用量		m ³	192	-1%	-1.5%	-2%
			190		189	188
産業廃棄物のリサイクル率		%	100	維持	維持	維持
※産業廃棄物のリサイクル率（＝中間処理後のリサイクル量÷中間処理合計）は、処理量を考慮し、現状維持とする				100	100	100
グリーン購入（事務用品）		%	100	維持	維持	維持
				100	100	100

※温室効果ガス排出係数の算出に用いた電力排出係数は 0.482-CO2 を使用

		単位	2023 年度 (令和 5 年 6 月～令和 6 年 5 月)
3.総エネルギー投入量	購入電力	kWh	17461
	軽油	ℓ	49597
	灯油	ℓ	0
	ガソリン	ℓ	3093.9
7.水資源投入量	上水	m ³	192.0
	雨水	m ³	69.9
3.温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	143554.4
4.受託した一般廃棄物の運搬	収集運搬量（事業系）	t	825.9
	収集運搬量（家庭系）	t	9272.2
4.受託した産業廃棄物の運搬	収集運搬量	t	100.79
4.受託した産業廃棄物の中間処理	廃プラスチック類	t	34.9
	動植物性残さ	t	0.0
5.一般廃棄物総排出量 (自社オフィス排出廃棄物量)	再生利用	Kg	221.0
	単純焼却	Kg	266.0
総排水量	公共用水域	m ³	147.9
	下水道	m ³	114.0



環境目標	実施項目	責任者	評価
省エネルギー活動	洗車・運搬容器洗浄・洗濯機（堀之内倉庫）にはすべて雨水使用	大石直弘	○
	エアコンの温度設定	油井彩乃	○
	節電の為の工夫、実行	油井彩乃	×
	エコドライブの徹底	後藤康平	○
	藤枝市委託業回収ルートの見直し・効率化	大石直弘	○
	一般業務回収ルートの見直し・効率化	水野将徳	×
	事務所の不要照明の消灯（節電の徹底）	油井彩乃	○
廃棄物のリサイクル率向上	排出事業所への分別指導	水野将徳	○
	コピー用紙の裏面使用の徹底	油井彩乃	○
	廃棄物排出量の削減（自社の分別の徹底）	油井彩乃	×
	エコキャップ活動	油井彩乃	○
	産業廃棄物のリサイクルに務める（処分業者の選定）	水野将徳	○
	一般廃棄物のリサイクル業者との提携	塚本貴生	○
	マルシェを活用したリユース事業の推進	水野将徳	○
地域社会貢献活動	もったいない運動推進募金（自動販売機）と集計	油井彩乃	○
	地域清掃活動	後藤康平	○
	マルシェ（リユース品の提供）1/年	塚本貴生	○
環境関連法規の遵守	積載量・制限速度の厳守	飯塚博之	○
	従業員への教育（朝礼・回覧）	後藤康平	○
	車両点検・点検表の保管（3年間）道路運送車両法	大石直弘	○
	毎朝の免許証・呼気アルコール濃度チェックの実施	長嶋・後藤	○
	廃棄物中間処分施設の適正管理（施設点検）	大石直弘	○
	産業廃棄物に関するセミナー	伊藤・後藤	○
	労働安全衛生法第45条に基づくフォークリフト検査	塚本貴生	○
	安全運転管理協会講演会	飯塚博之	○
	産業廃棄物処分施設への見学	水野将徳	○
	志太広域事務組合 高柳清掃工場優良認定の取得	塚本貴生	○
周辺環境の保全	廃棄物中間処分施設の適正管理（施設点検）	大石直弘	○
社員の教育環境	グリーン購入	油井彩乃	○
	電子マニフェスト管理	飯塚 泉	○
	環境上の緊急事態への準備及び対応の確認	後藤康平	○
	車両火災時の訓練 BCP 発表	後藤康平	○
	BCP(事業継続計画)の策定	塚本浩子	○
	事業継続力強化計画の確定	塚本浩子	○

取組期間 2023年6月～2024年5月末

温室効果ガス排出量

基準値 2020 年度	目標	目標数値	実績値 2023 年度	評価
129721	-2.0%	127126	143554.4	×

単位：kg-CO2

※温室効果ガス排出係数の算出に用いた電力排出係数は 0.482kg-CO2 を使用



分析・評価・次年度への課題

【分析】

回収の依頼件数が年々増加している為、軽油の使用量が増加傾向にあるが、購入電力は去年より減少している部分が見受けられる。

【評価】

過去の購入電力に誤りがありました。基準年の温室効果ガス排出量も変わってくるため、評価としては×となりました。

【次年度への課題】

データで確認できる部分で購入電力は前年より減少している月もあるので、ガソリン使用量、購入電力を減らすとともに、次年度は目標達成を目指す。

化石燃料の使用量

	基準値 2020 年度	目標	目標数値	実績値 2023 年度	評価
軽油	47044	-2.0%	46103	49597	×
灯油	248	-2.0%	243	0	○
ガソリン	828	-2.0%	811	3093.9	×

単位：L



化石燃料の使用量

分析・評価・次年度への課題

【分析】

年々使用量が増加傾向にある。分析の結果、一般業務部門の走行距離が前年に比べ3%伸びていて、産廃の運搬量が増加している。年々依頼が増加している事は分析から分かるが、増えているからこそ、ガソリンの使用量をどのように減らすかが今後の課題となる

【評価】

運搬量が増えているとはいえ、燃料の使用量が年々増加傾向である。急な依頼で回収に回る時は仕方ないにしても、今まで以上のルート最適化を図りたい。

【次年度への課題】

市や包括支援と連結し、今まで以上にゴミ屋敷などの片付けも増え、隣接市の依頼も増加している。移動距離が増えてしまい、運搬量も増え、燃料の使用量がどうしても増加傾向にある。片付けによるルート最適化には限界である為、定期回収を行っている車は、今まで以上の最適化を目指していきたい。

購入電力

基準値	目標	目標数値	実績値	評価
2020年度		2023年度		
16033	-2.0%	15712	17461	×

単位：kwh



分析・評価・次年度への課題

【分析】

データを確認する時に、収集にデータに誤りがありました。基準値を大幅に上回る結果となりましたが、2年分のデータを確認した所、谷稲葉事務所は横ばい、作業場(第二倉庫)の購入電力量自体は去年より減らせていました。外壁を断熱塗料したことにより、作業場の電力を抑えられた。

【評価】

情報収集に誤りがありました。基準年度の購入量の確認ができない為、評価としては×となりましたが、前年度に対して、谷稲葉は横ばい、第二倉庫では減少傾向でした。

【次年度への課題】

誤りが無いように確実に確認する。前年度に対して第二倉庫は減少傾向だったため、次年度は今年度以上に意識し、全体で節電を意識し、目標達成できるよう心掛ける。

自社オフィス排出廃棄物量

基準値 2020年度	目標	目標数値	実績値 2023年度	評価
238	-2.0%	233	266	×

単位：kg



分析・評価・次年度への課題

【分析】

可燃ごみ・古紙が依然として増加傾向にある。社内イベント、広告の分の廃棄量が増えた。

【評価】

去年に引き続き、廃棄量が増えている。マルシェなどの社内イベントによるゴミが少し増えてしまった事が原因と思われる。イベントを開催するにあたり、ゴミがどれくらいでるのか予想し開催し、次年度はゴミの廃棄量を減らしていきたい。

【次年度への課題】

可能なところからペーパーレス化をしていき、紙代・印刷代を減らしてゴミと共に、不燃の廃棄量を減らしていく。

水使用量

基準値 2020年度	目標	目標数値	実績値 2023年度	評価
188	-2.0%	184	192	×

単位：m³



分析・評価・次年度への課題

【分析】

目標値を下回る事は出来なかったが、年々使用量を減らせている。作業場を中心に、夏場の使用量が増加傾向にある。

【評価】

年々使用量が減ってきている。各々が節水を心掛けていと考えられる。

【次年度への課題】

夏の使用量がどうしても多くなるため、暑い時期の使用量をどれだけ減らしていけるかが来年度の課題と思われる。使用量は年々減少傾向の為、次年度は、今年度以上に節水を心掛けたい。

産業廃棄物リサイクル率

単位：%

基準値 2020年度	目標	目標数値	実績値 2023年度	評価
100	±0%	100	100	○



分析・評価・次年度への課題

【分析】

顧客ごとに廃棄物の種類や処分方法の流れをパターン化。決められた形で収集運搬・処分を行える環境が出来ている事から、リサイクル率の維持が出来ていると考える。

【評価】

排出前に複合素材などを分別してもらう事により混合廃棄物や単純焼却物になる廃棄物を単一素材としてサーマルリサイクル向けの物として受け取り可能な状態として排出してもらうように分別指導をしており、受入れが難しいものに関しては、処分先の紹介や直接処分先へ運搬するなど廃棄物がシンプルに流れるように努めている結果だと考える。

【次年度への課題】

現状サーマルリサイクルに向けに処分委託しているが、今後の課題として原料向けなど様々な資源化に対応できるように委託先を選定する。

グリーン購入(事務用品)

基準値 2020年度	目標	目標数値	実績値 2023年度	評価
100	±0%	100	100	○

単位：%



分析・評価・次年度への課題

【分析】

例年通り注文時は、Eco マーク・グリーン購入を確認し注文できている。

【評価】

意図的に再生原料を使用した製品が購入できている。今後も引き続き維持する。

【次年度への課題】

社会的に求められる重要な項目となる事が予想される為、今後もグリーン購入対象商品の幅を広げていく。

環境関連法規等の取りまとめ

適用対象	適用事項	評価
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬業・処分業許可の届出・更新	○
	委託契約書・管理票の 5 年間保存	○
	産業廃棄物排出者への管理表写しの送付(10 日以内)	○
	産業廃棄物の帳簿作成・5 年間保存	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	○
	産業廃棄物保管場所における種類等の表示	○
	廃棄物排出業者に分別の指導を行う	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する条例	第 10 条 処分を委託した業者の現地確認	○
	第 12 条-第 16 条 産業廃棄物の運搬において越境しない	○
	第 17 条 受託産業廃棄物の処理状況の報告（毎年度 6 月）	○
家電リサイクル法	家電リサイクル券の発行	○
食品リサイクル法	食品残さの収集運搬・堆肥化	○
道路交通法	出勤時の免許証携帯・出退勤時の呼気アルコール濃度のチェック	○
	運転中の携帯電話使用禁止	○
	過積載の禁止	○
	毎朝の車両点検・整備 書類保管	○
道路法	道路網の整備・管理・保全に関する法令遵守	○
	藤枝市委託業務における通行禁止区間除外指定車の申請	○
肥料取締法	食品リサイクル肥料認証書の取得	○
浄化槽法	業者による浄化槽の保守点検 11 条検査	○
悪臭防止法	悪臭基準（藤枝市 15）の遵守	○
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い・書類保管	○
下水道法	堀之内作業所における下水道に関する法令遵守	○
グリーン購入法	環境物品を積極的に購入	○
循環型社会形成推進基本法	3R の実行	○
水銀汚染防止法	水銀使用性製品廃棄物の分別の徹底と法令順守	○
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検の実施 1 回/3 ヶ月	○
プラスチック資源循環促進法	製品プラスチックの再資源化	○

当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去 5 年間ありませんでした。

遵守確認日 令和 6 年 9 月 2 日

PLAN（計画）

1. 廃棄物業界のイメージを払拭する。
2. 地域貢献活動に力を入れる
3. 介護を必要としている方たちが、気軽にゴミを出せるような環境作り
4. 効率の良いルートの選定・エコドライブの推奨
5. 2024年度以降の目標を策定する。

DO（計画の実施）

1. ゴミ=廃棄物のイメージを変える マルシェ等イベントにてリユース品を取り扱いゴミ減量、リユースの強化。片付けゴミという概念を変える。
2. 藤枝市包括支援推進課を通し、認知症の方と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験している。その体験を通し、食の安全や大切さを実感し食べ残しを減らし、環境にも配慮した取り組みにしていく。
3. 行政の包括支援と提携し、介護施設利用者や家族の方と繋がりやすい形を作り、ゴミ出し困難者の方には、家まで定期回収に行き、あわせて、安否確認も行うサービスをすることによって、要介護者の方でも、家にゴミがたまらない様にする。この様なサービスを地域包括や行政から、ゴミ出しが出来ない方や高齢者に向けて発信をしていってもらおう。
4. 市の回収では2人乗車が基本となるが、パートナーを定期的に変える。一般の回収も定期的に作業者を変える事により、運転方法やルート選定を見直し、定期的に話し合いを行い、ルートや作業の効率化を図る。それに伴い、誰でも同じルートで回る事により走行距離を減らす。
5. 本年度の集計データを基準値として定め、新中長期の目標値を見直し、次年度以降目標達成に努める。

CHECK（確認・評価）

1. 回収依頼を受け、片付けや処分をする際に、状態が良くまだ使えそうな物は、排出者に確認したうえで、自社開催のマルシェでリユースという方法で欲しい方に再利用してもらい、リサイクル品として扱う事で紹介する事でゴミとしての廃棄量を減らすことにつなげる。
2. 残渣を利用し堆肥を製造し、その堆肥を農業に利用する。介護施設や、小学校などで植え付けや収穫を体験する事により、地域と交流する機会を定期的に設ける。一部の堆肥は市の公園などの植栽などの肥料として使用している。
3. セミナーを受講し、認知症に優しい事業所を登録。包括支援センターに声をかけ、困ってる利用者さんがスムーズに片づけが出来るよう道を開く。自分でゴミを出せない片付けられない人の家まで行きゴミの回収を行う。
4. 軽油の使用量の削減には至らなかったが、委託ルートに関しては後輩社員を、先輩社員の横に乗車させ、運転方法の見直しやルートの選定を学習させる機会を創出し、全従業員が同じルートで回収をすることで無駄をなくせた。
5. 本年度は目標未達成の部分が多かった。2024年以降の目標を策定し直し次年度以降、新中長期の目標達成努める。

ACTION（改善）

1. 単純焼却と資源を分別する事はもちろん、片付けられたものの中から、未使用品の物をリユースとして買取を行ったりリサイクルショップを紹介したり、リサイクル率の向上をはじめ、リユースで買取を行った物を自社のマルシェで出品しお客さんに、片付けやとしての紹介と共に、単純にゴミ屋、捨てるだけというイメージを変えさせる。
2. 給食センターの残渣をゴミとして廃棄するのではなく、堆肥にすることによりゴミの減量。植え付け・収穫を学校の子供達や認知症の方たちと作業を行ない収穫。収穫した物は、地元の直売所で販売し好評を得ている。会社のイメージアップ・地域貢献には、目に見えない高評価を与えてくれている。

3. 年々利用者や相談が少しずつだが増えている。まだ件数が少ない為、曜日単位で 1-2 件の回収が行われている。依頼数が少ない為、現時点で 1 件の為に車を走らせていることがある現状。サービスを求められる限り継続していきたい。サービスや知名度を広げて件数を増やし、ルートを確率化し、化石燃料の使用量を減らしていきたい。
4. プロのドライバーとしての自覚を植え付けの教育をし、安全管理や作業のミスなくすとともに、運転技術の向上を部刺し、安管等で行われているコンテスト等にも積極的に参加して意識の向上に努める。
5. 年単位ではなく、定期的な見直しを行い、前年度より数値を下回っているかを確認し、数値や原因を確認し、目標達成に努める。次年度は-1%、3年後までに-2%を目指す

7つの文章	Check	見直しの必要性	8つの記録	Check
1.環境方針	○	無	1.環境への負荷の自己チェック	×
2.環境目標	×	有	2.環境への取り組みの自己チェック	×
3.環境活動計画	○	無	3.環境関連法規の遵守状況結果	○
4.環境関連法規の取りまとめ	○	無	4.外部からの苦情等の受付結果	○
5.実施体制	○	無	5.環境上の緊急事態の訓練結果	○
6.緊急事態の想定及び対応策	○	-	6.目標達成・計画実施状況	×
7.環境活動レポート	○	-	7.問題点の改善及び予防の処置	×
			8.代表者による評価の見直し	○

令和 6年 9月 2日

代表取締役 塚本 貴生

有限会社塚本興業

